

# ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

※この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします

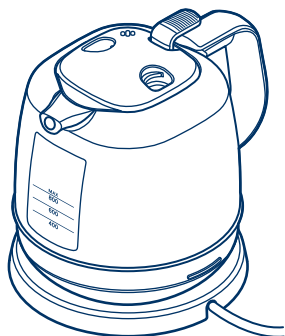
**TWINBIRD**

家庭用

湯沸かし専用

電気ケトル

# TP-4408 取扱説明書



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。  
業務用などにご使用にならないでください。

日本国内100V専用

交流100V以外の電源では使用  
しないでください。

## ● もくじ

安全上のご注意	1・2
使用上の注意とお願い	3
各部の名称とはたらき	4
使いかた	5・6
お手入れ	7・8
こんなときは	9
アフターサービス	10

## 仕様

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。  
必ず記入をお受けください。

TP-4408

# 安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明



**警告** 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



**注意** 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明



は、してはいけない「禁止」の内容です。



は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。



発火・感電・けがの原因になります。  
修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。



水ぬれ禁止



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。



けがをする恐れがあります。



禁止

乳幼児などに電源ベース接続部をなめさせないでください。

感電やけがの原因になります。



禁止

使用中、ふきんなどで蒸気口や注ぎ口などをふさがないでください。

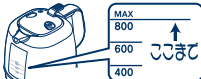


湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



禁止

満水目盛以上の水を入れしないでください。



湯がふきこぼれて、やけどの恐れがあります。



強制

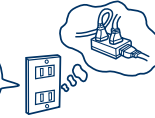
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。  
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



コンセントの単独使用



定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。また、火災・感電の原因になります。



禁止

傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。



湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



禁止

製品を転倒させないでください。



湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



禁止

直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁(IH)調理器、電子レンジなどに使わないでください。

火災の原因になります。



禁止

本体や電源ベースを落としたり、衝撃を加えないでください。

過熱や異常動作、感電の原因になります。

# 警告



禁止

水以外（牛乳、酒、お茶類）のものを入れたり、氷を入れて保冷用として使わないでください。

お茶・牛乳・酒・インスタント食品などを入れて使うと泡立って、ふきこぼれややけどの恐れがあります。こげつき、腐食、故障の原因になります。冷たい水や氷を入ると結露が生じ、感電・故障の原因になります。



プラグを持って抜く

異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、発火の原因になります。



禁止

電源ベース中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだりしないでください。電源プラグに金属やほこりなどのゴミを付着させたりしないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれて禁止

電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。



感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

感電・漏電火災の原因になります。

# 注意



禁止

専用の電源ベース以外は使用しないでください。また、電源ベースを他の機器などに使用しないでください。

発火・故障などの原因になります。



禁止

ふたを開けたまま湯沸かししないでください。

沸とうしても電源が切れません。



禁止

湯沸かし中はふたを開けたり、湯や水を注いだり、移動しないでください。

湯が飛び散り、やけどの原因になります。



禁止

本体をにおいが強いもののそばで使用・保管しないでください。

においが移ることがあります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。

火災の原因になります。



禁止

水がかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使わないでください。

ショート・感電・故障の原因になります。



禁止

壁や家具の近くで使わないでください。

蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所で使わないでください。

故障の原因になります。



強制

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。



強制

お手入れは冷めてから行ってください。

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。



強制

本体を持ち運ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持ってください。

落下したり、湯がこぼれたりしてけがややけどの原因になります。



接触禁止

蒸気口や注ぎ口に手をかざしたり、触れたりしないでください。

やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。



接触禁止

湯沸かし中、湯沸かし後、本体など高温部に触れないでください。

やけどの原因になります。お湯が沸いたときの本体表面は、約80℃になります。



接触禁止

ふたを開けるときにでる蒸気に触れないように注意してください。

やけどの原因になります。



禁止

備長炭などの炭を入れて使わないでください。

故障の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。



禁止

空だきをしないでください。

容器の熱変色など故障の原因になります。



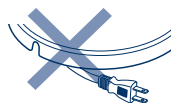
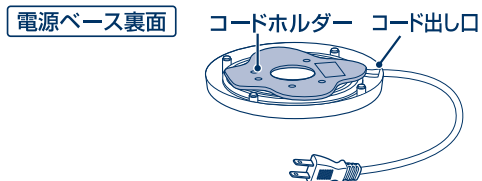
強制

本体は電源ベースの中央にしっかり載せてください。

転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。

# ⚠ 使用上の注意とお願い

- 電源コードは、コードホルダーに巻きつけて長さを調整し、電源ベースのコード出し口にはめ込んでください。



傾いて転倒の原因になったり、電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。

- 残り湯は捨ててください。

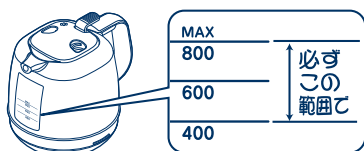


放置すると変色・腐食の原因になります。

- 本体容器の汚れ（水アカなど）はこまめにお手入れしてください。

汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

- 最小目盛(400ml)から満水目盛(800ml)の範囲でお湯を沸かしてください。



空だき防止機能がはたらいて電源スイッチが切れたり、お湯があふれて、やけどや故障の原因になります。

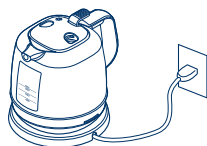
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。

- 本体は電源ベースの中央にしっかり載せてください。



接続部を確実に接触させないと、電源スイッチが入らなかったり、切れなかったりします。

- 本製品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。



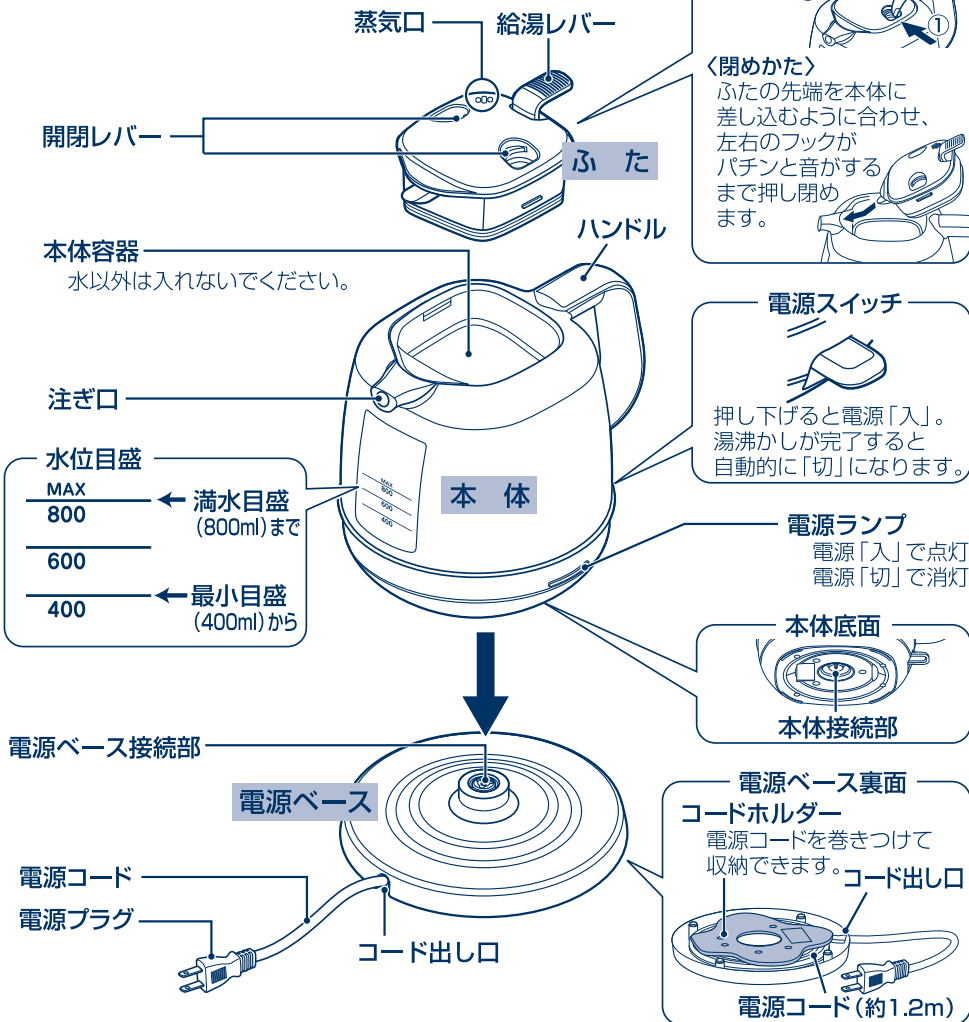
必要な時に必要な量だけ沸かして！

## お願い

きちんとセットしても動作しないときは、使用を中止して、電源プラグを抜き、「お客様サービス係」までご相談ください。

# 各部の名称とはたらき

- 本製品は、本体と電源ベースの分離式になっています。本体を電源ベースに載せて電源スイッチを入れないと通電しません。また、本体を電源ベースからはずすと電源スイッチは自動的に切れます。



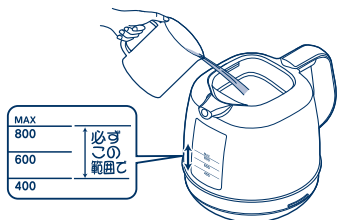
## お願い

- この製品は水を沸かすためのものです。水以外は沸かさないでください。
- この製品は火にかけられません。直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁(IH)調理器、電子レンジなどに使わないでください。
- お湯を沸かすときは、必ずふたをしっかりと閉めてください。

# 使いかた

- 初めて使うときは、事前に本体容器を水またはぬるま湯でよくすすいでください。
- 初めて使うときは、お湯がにおうことがあります。ご使用とともに少なくなります。気になるときは2～3回沸とうさせた後、お湯を捨ててください。

## 1. ふたを開けて本体容器に別の容器で水を入れ、ふたを閉めます。



本体を電源ベースからはずし、別の容器で水を必要な量(400ml～800ml)だけ入れます。

ふたをしっかりと閉めます。ふたの左右のフックがしっかりと、かかっていることを確認してください。

### △注意

- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 本体やハンドルに水をかけたり、流し台に置いて底面をぬらしたりしないでください。

### — 空だき防止機能について —

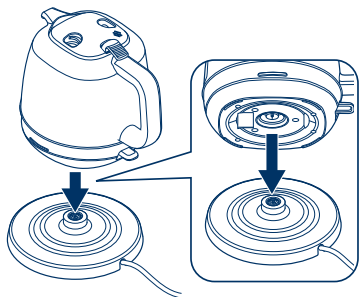
最小目盛以下の水量で沸かさないでください。

空だき防止機能がはたらいて自動的に電源スイッチが切れる場合があります。

この場合は、本体を電源ベースからはずし、しばらく冷ましてからお使いください。

## 2. 本体を電源ベースに載せます。

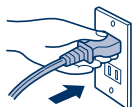
- ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。  
ふたをしっかりと閉めないで、沸とうしても電源が切れません。
- 電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。
- 電源ベースは水平に設置してください。



電源ベース接続部と本体接続部を合わせてセットします。

セットされていないとスイッチが「入」になりません。

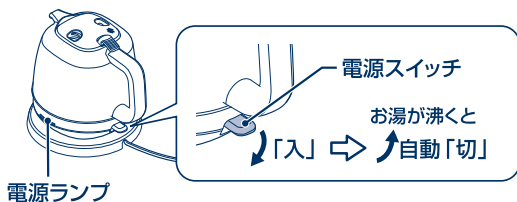
## 3. 電源を接続します。



電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。



#### 4. 電源スイッチを入れます。 お湯が沸いて、電源が切れます。



電源スイッチを押し下げます。  
電源ランプが点灯します。  
お湯が沸くと自動的に電源が切れます。  
(電源スイッチが「切」になり、  
電源ランプが消灯します。)

- 水が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって異なります。
- 保温機能はありません。  
湯沸かし完了後放置すると、お湯は冷めます。  
必要なときに必要な量だけを沸かしてください。

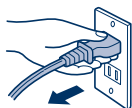
#### 湯沸かし時間の目安(23℃の水)

- 800ml…約5分
- 400ml…約3分

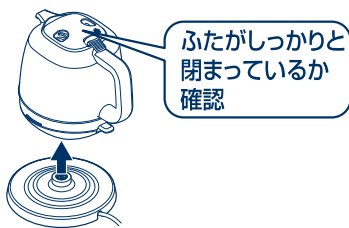
#### 湯沸かし中に、電源を切りたいとき

電源スイッチを押し上げて「切」にします。

#### 5. 電源プラグをコンセントから抜きます。



#### 6. お湯を注ぎます。



ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。  
本体を電源ベースからはずします。  
お湯を注ぎます。

#### 〈お湯の注ぎかた〉



#### 7. 使用後は

残り湯を捨てて、本体容器内を空にしてください。

#### お願い

- 本体容器にお湯を残さないでください。  
放置すると変色・腐食・においの原因になります。
- ご使用後はお手入れしてください。  
本体容器はこまめにお手入れしてください。



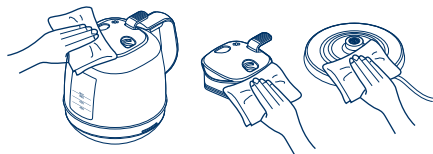
# お手入れ・・・日常、こまめにお手入れをしてください。

お手入れは、必ず電源プラグを抜き、残り湯は捨て、製品が冷めてからしてください。

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。  
変形の原因になります。
- 洗剤、シンナー、ベンジン、クレンザー、漂白剤、化学ぞうきん、たわしなどは使わないでください。



## 本体外側・ふた・電源ベース

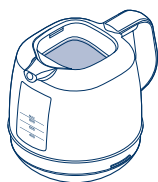


よくしぼったふきんなどでふきとります。

### △注意

水洗いはしないでください。  
感電事故の原因になります。

## 本体容器



容器に水またはぬるま湯を半分くらい入れ、やわらかいスポンジでふき取った後、水ですすぎます。

### △注意

本体外側やハンドル部に水を  
かけないでください。

- 容器の変色やにおいの原因になるので、残り湯はすてて、こまめにお手入れしてください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水（ミネラル分を多く含む水）を沸かしたときは、ミネラル分が付着しやすいため、よりこまめにお手入れしてください。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸で洗浄してください。（8ページ）

## ミネラル成分について

長く使用していると、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が容器に付着して次のようになることがあります。

- 白い浮遊物が浮く ● 乳白色、黒点、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点（もらいさび） ● ざらつき

ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯沸かし中の音が大きくなる原因になります。

付着したミネラル成分がはがれて、本体内のお湯や蒸気の出口をふさぎ、故障の原因になります。

## 長期間使わないとき

お手入れの後、容器や各部を十分に自然乾燥させてください。

虫やホコリなどが入らないように、ポリ袋などで密封して保管してください。

## 〈クエン洗浄のしかた（1～3ヶ月に1回が目安）〉

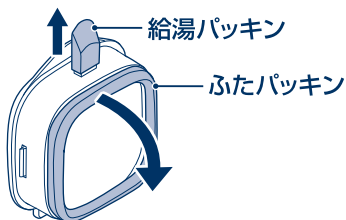
洗浄用クエン酸は、薬局などでお買い求めください。

- ①本体容器にクエン酸、約30gを入れます。
- ②水を満水目盛（約800ml）まで入れて沸かします。お湯は入れないでください。
- ③沸とう後、約1時間放置します。1時間以上放置しないでください。
- ④電源プラグとふたをはずしてお湯をすてます。
- ⑤やわらかいスポンジで汚れをこすり落とし、よくすすぎます。
- ⑥汚れが落ちにくいときは、再度クエン酸を入れて同じ操作をしてください。
- ⑦クエン酸のにおいをとるために、水だけで通常どおりに再び湯を沸かし、ふたをした状態でお湯をすてます。

## 〈パッキンの取り替えかた〉

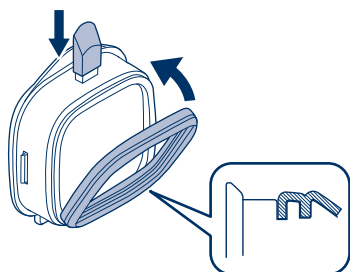
パッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。損傷している場合は、新しいパッキンと交換（有償）してください。交換の際は、製品の品番をご確認のうえ、製造元「お客様サービス係」までパッキンをお求めください。

### 取りはずしかた



ふたからふたパッキンと給湯パッキンをはずします。

### 取付けかた



- 図のようにふたに、パッキンをはめ込みます。
- ふたパッキンは、外周がまんべんなく均等になるように押さえて、ふたの外周とふたパッキン内側の溝をぴったり密着させてください。

# こんなときは

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなときは	調べるところ	処 置
湯がわかないとき。	電源スイッチつまみが「切」になっていませんか？	電源スイッチつまみを「入」にしてください。
	電源ベース接続部に本体接続部がきちんと差し込まれていますか？	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと載せてください。 (5ページをご覧ください。)
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源スイッチが入らない。	電源ベース接続部に本体接続部がきちんと載せていますか？	電源ベース接続部に本体接続部をきちんと差し込んでください。 (5ページをご覧ください。)
沸とうが止まらない。	ふたが閉まっていますか？ ふたがしっかり閉まっていないと沸とうしてもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。 (5ページをご覧ください。)
沸とうする前にスイッチが切れる。	400mlに満たない水量で湯を沸かしていませんか？	よく冷ました後、水を入れて、電源スイッチつまみを「入」にしてください。
	空だきしていませんか？ 空だき防止機能がはたらいて、スイッチが入りません。(5ページをご覧ください。)	
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る。	満水目盛以上の水を入れていませんか？	水を満水目盛以下に減らしてください。 (5ページをご覧ください。)
湯に白いものが浮く。 本体容器内が汚れている。 壁面がはがれたように見える。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。 (7ページをご覧ください。)
	ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。有毒ではありません。	
湯沸かし時の音が大きくなる。	水アカが本体容器に付着していませんか？	本体容器をお手入れしてください。 (7ページをご覧ください。)
お湯が出ない。 出にくい。	本体容器・注ぎ口・ふたパッキン・蒸気口に水アカなどがついていませんか？	本体容器・注ぎ口・ふたパッキン・蒸気口のお手入れしてください。 (7ページをご覧ください。)
使用後しばらくすると音がする。	熱せられた部品の冷める音です。 故障ではありません。	
ハンドルの下や底から水滴がたれる。	蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。蒸気が本体の底やハンドルの下から水滴となってたれることがあります。故障ではありません。	
お湯が臭う。	水道水に含まれる消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
	初めて使うとき、しばらく使っていなかったときは樹脂などのおいが移ることがあります。 ご使用とともに少なくなります。	
	においが強いもののそばで使用・保管していませんか？ お湯ににおいが移ることがあります。	
	ビニールシートなどのナイロンの上で使っていないですか？ お湯ににおいが移ることがあります。	